

【事例】 税理士資格を持つITCが企業を支援

会社紹介

ジーエーインペックス株式会社

愛知県名古屋市中区金山1-7-10 金山名篠ビル7F



事業内容 貿易業
設立年 平成14年
従業員数 8名

代表取締役社長 石井隆 氏

創業間もない会社の現実に即し 成長に合わせたIT導入を提案

愛知県の貿易商社

ジーエーインペックス の場合

マイクロソフトが支援する会計人のITコーディネータ組織「全国IT推進研究会」(通称MSITC)に所属するITコーディネータが、税理士として顧問契約を結ぶ一方で、社内のIT導入をサポートする動きが広がっている。その中から、愛知県の事例を紹介する。

「会社の一事業部から独立しましたので、営業畑の経営者です。企画や数字的なことは強い一方、経営管理に不慣れな面もありまして。相談役として頼りにしています」

2002年に会社を設立したジーエーインペックスの石井社長は、顧問税理士であるITコーディネータの岡崎拓郎氏をこう称する。

金属の生産材など、中国で製造した製品を日本企業に販売する貿易業を営む同社は、従業員8名で10億円規模の取引を扱っている。

創業間もない時期に相談を受けた岡崎氏は、まずは経理業務の整理に取り掛かり同時に会計ソフトを導入。経理面の安定が出てきたところで次のIT活用についてのアドバイスも積極的に行っていった。

岡崎氏は、当時の様子を、「LANはあったもののつながっているだけという状況。サーバーをきちんと入れること、そして業務分析を行ってDFD(データの流れと業務の流れを示した図)を作成しベンダーに提案をもらうことに取りかかりました」と振り返る。

取引の管理をしたい
しかし、費用はかけられない…

業務上の課題は得意先管理など、

業務上のデータが担当者ごとに別々に管理されていた点。効率の面でもデータの統一という面でも改善が必要だった。あるベンダーはERPによる統合管理を提案してきたが、「確かに数千万円のシステムを入れれば全部できる。しかし、資金繰りを考えるとその投資はまだ早いと考えました」(岡崎氏)。

ジーエーインペックスでは、中小規模企業向けのサーバーソフトSmall Business Server 2003とデルのサーバーを設置し、オービックビジネスコンサルタントの奉行シリーズを導入することとした。オフィス系のソフトで行う部分も残し、会社の成長とともにシステムを拡張していく計画だ。

今回の取り組みについて石井社長は、「重複した作業がなくなり一元化・合理化することができ、金額面でも納得できました」と評価する。ただ、岡崎氏が同社を訪問するのは月に1、2回。石井社長としては「もっとペーシングを上げてもらっても良いくらい。まだ使い切れていない部分もあるし見積や受発注データもすぐに見えるようにしたい」と、むしろ煽るくらいの勢いだ。

貿易業は目利き力と数字への感度が求められる業種。データの活用で

サポーター紹介 ITコーディネータ



税理士 岡崎拓郎 氏
岡崎信之税理士事務所
全国IT推進研究会
<http://www.msitc.net/>

ジーエーインペックスとは5年に及ぶ二人三脚。税理士とITコーディネータの両面で支援中だ。石井社長は「岡崎さんに言われたことはあまり反対したことはないですね」と笑顔で語る。

岡崎氏は自ら事務所にサーバーを導入して使い勝手を試したり、費用対効果を検討したうえで、石井社長に活用を勧めている。

ただ、中小企業に対するIT活用支援においては、ITコーディネータ資格の知識体系がそのまま利用できない部分もあり、「土台作りが必要な企業には、一定期間にすべてを終わらせないで次への課題とするケースもあります」(岡崎氏)とのことだ。

また、1社で二つの業務を行うにあたっては、「税理士は経営者寄りの発想で考えるので引きずられてしまう面があります。IT導入の仕事では、会社の甘い面もズバリと指摘できるよう頭を切り替えて取り組んでいます」と、その方針を語っている。

社内に石井社長のノウハウを継ぐ人材が現れれば、さらに強さを増していくことだろう。